

# 助川太郎

group

guitar 助川太郎  
quena zampoña 山下topo洋平  
piano 阿部篤志

2018 01月06日(土)

開場 19:30  
開演 20:00~

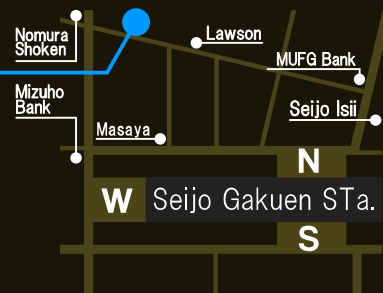
(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000 円 + 2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047  
info.cafebeulmans@gmail.com  
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 山下topo洋平

学習院大学哲学科在学中よりプロ活動を開始。ケーナとサンポーニャの故郷南米ボリビアに渡り、世界的マエストロ、エルネスト・カプールやボリビア最高峰のサンポーニャ奏者フェルナンド・ヒメネス他、現地の音楽家と共演、南米フォルクローレの真髄に触れる。日本においても多数のミュージシャンと共演し、ライブ活動を精力的に行うかたわら、CDレコーディング、映画音楽など音楽製作へも参加している。南米と日本での様々な音楽家との共演によりケーナとサンポーニャの民族楽器を超えた魅力を見出し、複数のユニットを結成。これまで7枚のリーダーアルバムを発表。その音色と現代的アプローチは「単なる民族音楽という枠を超えた普遍的な魅力に満ちている」(CDジャーナル・レビューより抜粋)と評されている。国際的な評価も高く、2015年は自身のバンド「Tierra Cuatro」が南米ツアーへ招聘された。

## 助川太郎

1973年東京生まれ。2001年米ボストン、パークリー音楽大学ギター科卒業。ブラジル音楽を中心に、ジャズのバックグラウンド、尾尻雅弘氏に師事したクラシックギターの要素、エフェクターや特殊奏法を多様化したサウンドデザイン等、様々な要素が混然一体となっている演奏家である。ギター、口琴、エフェクターを併用した三位一体の演奏で、音楽シーンに全く新しい世界観を発信し続けている。ヴォーカリストEMIKO VOICEとのデュオで結成したブラジル音楽ユニット「メロコラソン」では2003年より活動。現在までに5枚のアルバムを発表している。2013年、ソロギタリストとしての活動をスタート。ギター1本の完全独奏によるアルバム「This is guitarist」を発表し、diskunionジャズチャートで初登場一位を獲得。「レコード芸術」「現代ギター」「ラティーナ」「CDジャーナル」などの音楽誌、各種メディアに取り上げられ反響を呼ぶ。現在はソロギターでの全国ツアーの他、ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、タンゴ、民族音楽、芝居の舞台音楽など幅広いフィールドで演奏活動を展開中である。

## 阿部篤志

現在関東を中心に各地でLive活動中。Jazzにとどまらず、あらゆるジャンルの音楽にその活動の場を拡げている。最近では日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするオーケストラとの共演、様々なポップス歌手への楽曲アレンジ・レコーディング参加、『題名のない音楽会』『24時間TV』、また『ザ・ワイド』のコメントーターとしてテレビ出演するなど、その活動は多岐にわたる。自らのJazzトリオでも、日本を含めた世界中のあらゆるリズムを取り入れた斬新な切り口で、ジャズの新たな可能性を模索している。